

## 第3回 武蔵野市図書館運営委員会の主な内容

日 時 平成 24 年 4 月 25 日 (火) 午後 5 時 30 分～ 7 時 30 分  
場 所 武蔵野市立吉祥寺図書館 2階 集会室  
出席委員 伊野啓子 酒井有紀 船崎 尚  
松山 巖 三井一夫 毛利和弘

### 会議次第

- 1 開会
- 2 前回会議要録の確認
- 3 議事

#### (1) 図書館の運営について

##### ① 平成 24 年度 武蔵野市図書館事業目標 (案) について

事務局から平成 24 年度武蔵野市図書館事業目標 (案) について、郵送資料からの変更点を説明。今回いただいたご意見、本日欠席の委員の意見をもとに修正案を作成し、第 4 回にて目標を決定する。

##### ○図書館運営に関する項目

##### 1 図書館施設・機能の充実

委員 「3 図書館業務システムの再構築」の 26 年度までの取組について「待たないこと」とありますが、これは「待たせないこと」ではないでしょうか。

事務局 「待たせないこと」が正しいので、修正いたします。

委員 正確に評価を行うため、目標を見直す上でお願いしたいところがあります。まず 1 のブックポスト設置場所の「検討を進めます」とありますが、今年度最終年なので、「検討し、結果を示します」としていただきたい。これは利用困難者についてもお願いします。3 の業務の効率化の「新たな業務体制」について、具体的な構想があれば明確にしていきたい。レファレンス強化や弱点補強など、事務局で構想を練っていると思いますので、もしあればお願いします。

委員 私も同じ意見です。計画的に行うことが重要なので、曖昧な表現でなく具体的に示すほうが評価しやすいので示していただきたい。

委員 2 の既存施設の整備・改修についてですが、これに吉祥寺図書館は入りませんか。吉祥寺図書館の駐輪場では様々なトラブルが起こっているので、施設の改修等できませんか。

事務局 24 年度目標には入っていません。図書館利用者以外が止めていて、来館者に対して足りていない現状は把握しています。ただ、新たに駐輪スペースを作れば、それ以上の自転車が増えてしまうので、監視員を配置するなど、運用で対応していく課題だと思います。2 の施設整備で述べているハード面として自転車置き場を増設する予定はございませんが、ソフト的な部分は現在、内部的に対応策を検討しております。

交通対策課とも協議し、図書館利用者に限るという表示を出していますが、

改善は難しいところです。今後有料化もあり得ると思います。

委員 近隣の量販店の駐輪場ではレシートを見せると無料になるというところもあります。今後こういった仕組みを見習っていてもよいかと思います。

事務局 自転車問題が一番深刻なのはプレイスで、今後より深刻化することが予想されます。これは駅前駐輪場全体の問題で、図書館だけでは対応できなくなっています。交通対策課や駅前協等でも問題になっているようです。

委員 子どもたちだけで来るときに自転車置き場がないと図書館に来づらいので、これをぜひ解決していただきたいと思います。

委員 時間制にしてもいいと思います。4時間まで無料としているスーパーもあります。このような形を検討していただいてもいいと思います。

委員 3の取組目標で「安定的な運用」とありますが、これは何を以て安定的というのか具体的に示していただけませんか。故障がないということでしょうか。

事務局 まず利用者の方をお待たせしないことが大前提にあります。今回導入した機器の中で、貸出機はエラーも少ないのですが、残念ながら予約棚と返却機はエラーがまだ残っています。この改善が図られないことには安定的な運用とは言えず、人的資源の振り分けに至れません。数値には表しにくいところですが、エラー率のパーセンテージで表すことはできます。

委員 「システムエラー」などの言葉をいれていただけるとわかりやすいですね。工夫をお願いします。

委員 システムエラーの改修は業者の部分なので、図書館はシステムの問題を見つけることが目標ではないでしょうか。その結果、システムの改善に繋げるよう、こういった要求をする、と目標に示すのが正しいのではないのでしょうか。

事務局 そのように検討いたします。

委員 ブックポストの設置場所ですが、コミュニティセンターなど他部署との連携を検討していただけますか。

委員 市民からの要望として、返却ポストを駅に設置してくれという意見を伺いました。横須賀市ではコンビニエンスストアで返却ができるそうです。こうした他市区町村の事例を検討の対象にしてよいと思います。他市区町村での事例をふまえて、できるだけ早めの実現をしていただきたい課題です。三鷹駅は特に図書館まで遠いので、ぜひ実現して欲しいという方が多いと思います。

## 2 安心して利用できる図書館環境の構築

委員 1の巡回警備については平成26年までの取組だと思しますので、平成24年度は中間報告になると思います。この中間報告を目標に入れていただきたい。

2にある「研修」と「継続」という言葉に注意していただきたい。「研修」は、常に評価が伴うものなので、ここでは職員の満足度を調べていただきたい。この結果は改善・改革に繋がります。また内容について年間の回数や期間など、市民の目線に立って表記をお願いします。「継続」は、うまくいっているかなどを評価していただきたい。以下にある「訓練」等も同じようにお願いします。

委員 1の「巡回警備等警備体制」の「等」がどのようなことかわかりにくく、また現状がわかりません。今後と併せて具体的に示していただきたい。

- 委員 「等」は警備以外の職員の目ということでしょうか。
- 事務局 職員も含まれます。今後は警備員を増やすなど、警備体制をどのようにしていくか考えていかなければならない問題です。
- 委員 23年度は「防犯カメラの増設」と具体的でしたが、今回は抽象的です。「強化しました」で評価してよろしいのでしょうか。また、これについて利用者の声は寄せられているのでしょうか。
- 事務局 来館されたお客様から、図書館内で付きまといを受けたというご報告がありました。また職員に対する暴言・暴力も起きています。すぐに警備を増やすということではありませんが、特に夜間など職員体制が薄いところは早急に対策をしなければならぬと考えています。
- 委員 夜間に力を入れるのであれば、24年度は「特に夜間」など明記するほうがよいでしょう。図書館の役に立ちたいと考えている人は多くいますので、夜間巡回のボランティアを募ってもよいのではないのでしょうか。
- 事務局 ボランティアは1つの手だと思います。今後内部でも検討いたします。
- 委員 子どもだけでの利用は多くあると思いますが、不安の声はないのでしょうか。
- 事務局 夜間は子どもだけでの利用はないので、人の目の多い日中も併せて、そういったご意見はあまりいただいております。
- 委員 昼間は目が行き届いているということであれば、夜間を強化とすることはとても良いと思います。
- 委員 警察との緊急の連絡先など特別な連携などはありますか
- 事務局 警察との特別な連携はありません。110番通報で対応しています。また警備会社への通報システムはございます。
- 委員 昼間2階には職員の方があまりいないようですが、防犯カメラはありますか。
- 事務局 昨年度導入した防犯カメラがありますので、不審者がいれば確認できるようになっています。

### 3 質の高いサービスを支える体制整備

- 委員 まず「内部研修」については職員満足度調査を行っていただきたい。人材育成計画に計画年次が入っておりませんが、26年度までの取組目標と考えてよろしいのでしょうか。24年度評価のため、わかるようにしていただきたい。また、研修をどの程度行うか、頻度やレベルをわかる範囲で示していただきたい。
- 2の「中央図書館・吉祥寺図書館の土・日・祝日の開館時間の延長」と「望ましい運営形態」については最終報告をお願いします。
- 委員 第4期委員会で議論されていた、嘱託職員の人材計画における諸問題は解決したのでしょうか。
- 事務局 雇用期間は最長5年のままで、根本的な解決はなされておりましたが、この5年の中での研修等の整備は具体的になりました。

### 4 地域の情報拠点としての情報の蓄積

- 委員 1の目標「インターネットデータベース」は、種類を増やすためにはニーズの調査と予算の検討が必要になります。ニーズの調査はレファレンス担当者の経験や直観でも利用者の声でもよいですが、これも示していただきたい。これ

だけは入れたいというものがあれば目標に明記してもよいでしょう。また、目標は分けたほうがよいでしょう。利用者講座の実施については、具体的な内容を入れた目標に直していただきたい。「図書館における電子書籍の導入」の「研究」は、報告書を示していただきたい。

2の「リサイクル事業」は継続事業なので、利用者満足度調査などを行うべきでしょう。アンケートを取ると新しい発見があり、改善改革の目標が立てやすくなります。このリサイクルは西部図書館で以前行っていたものですか。

事務局 リサイクル事業については、図書交流センターで行う都立除籍本や寄贈本のリサイクルと、各館で行う図書館除籍本のリサイクルの2つが含まれています。

委員 言葉の問題ですが、1の「インターネットデータベース」は商用データベースを指しているのでしょうか。その場合「商用」と入れたほうがわかりやすいと思います。

事務局 ここでは商用データベースを指しています。

委員 商用データベースはお金がかかって大変なので、無料データベースのパスファインダーを作ってはどうかでしょう。無料でもよいデータベースはたくさんあります。今後、整理や研修を行うと、お金を使わずよいものができると思います。今入っている商用データベースと併せて使うとよいでしょう。

委員 図書等の資料費とデータベースの予算とは、どの程度の割合でしょうか。

事務局 圧倒的に図書等資料費が多く、データベースは割合的に少なくなっています。

委員 データベースは地域の情報拠点として発展するためには必要なものです。電子書籍等も含め、計画を立てながら予算交渉をやらざるを得ないでしょう。

## 5 市民や関係機関と連携したサービスの充実

委員 1の目標については研究の中間報告を示していただきたい。

2の「課題解決支援テーマ展示」は、年何回など具体的に入れていただきたい。また庁内での資料収集がうまくいっているのか、関係機関への情報提供は役立っているのかなど、問題はないか考えていただきたい。リストの提供などは、役に立っていないのであれば止めてしまってもよいのではないのでしょうか。

3に「資料展示に反映」とありますが、これは昨年行った結果、十分だったのでしょうか。問題があるのなら目標に落とし込んでいただきたい。

4の「学校連携図書の選書会議」は、年に何回開催しているのか、学校関係者は参加しているのか、などを示していただきたい。

事務局 選書会議には各校最低1人参加いただいています。これは学校指導要領が変わったことがきっかけで始まりました。頻度は年1回、夏休みに行っています。

委員 では「年1回」と加えていただけますか。また、「充実を図る」の「充実」という言葉ではわかりにくく、評価の対象になりません。どのような充実を図るか具体的に示していただきたい。ゴールが見えるように目標を定めていただき、年度の終わりに最終報告のまとめの提出をお願いします。

委員 4の目標として「学校連携貸出の利用が上がる」などが評価の対象になると思います。

委員 「参加している学校の児童の利用率が増えた」なども対象になりますね。

## 6 図書館の活用と情報収集の支援

委員 1の「利用者の声を反映」とは、利用者の声をいかにして聞き、どのように反映させるのかを具体的に示していただきたい。

2「子ども読書活動推進計画」の内容は、平成26年度までの目標だと思いますが、平成24年度にどこまでやるかを具体的に示していただきたい。

トピックスについても年何回、期間はどれくらい、と具体的に入れると良いと思います。また、目標は中央とプレイスに分けると良いでしょう。

児童・YA資料について「継続」とありますが、評価は冊数なのか、予算なのか、どこで評価するのかが入ると評価しやすくなるので、ぜひお願いします。

事務局 24年度予算は出ているので、冊数で評価していただくことになると思います。

委員 冊数の増加や貸出率5パーセントアップなど、数値が出せるものを示していただければよいと思います。

事務局 検討いたします。

委員 3にある「図書館関係団体」への満足度調査を行っていただきたい。25年度はそれを目標に反映させるべく、今年度ぜひ調査をしていただきたい。

委員 2にある「子ども読書活動推進計画に基づいた取り組み」は範囲が広く評価が難しいので、今年度重点的に行う事業を具体的に目標に入れていただきたい。

事務局 どれを行うのかは検討できていないので、検討し、どう取り組むかを入れた目標に修正いたします。

委員 今年はこちらで行うという指標を出していただけるとよいと思います。

委員 今年度は無理としても、専門家に話を聞く、などはできないのでしょうか。

YAサービスの充実が子どもの足を図書館に向けさせる一歩だと思います。

委員 プレイスを見学したとき、図書館としての遊び空間やYAなど、従来の図書館のイメージを破るものだと感じました。単なる配架や展示の問題だけでなく、プレイスならではの特徴をもっと出すと、よりユニークな結果が出ると思います。

事務局 プレイスが持っている特色の中で、青少年部門は図書館の中でも大きな部分なので、プレイスとも協議して目標に載せていきたいと思っています。

委員 1番目ですがこれは、まず利用者の声をきくことから始まると思います。今まではあまり行われていなかったようなので、これらに特化した来館者にアンケートなどを行うなど、具体的に目標に載せると良いと思います。聞く方法としては利用した方にその場で聞く、web上で聞くなどいろいろあると思います。

委員 メインは利用者満足度調査だと思います。

事務局 今年度はプレイス開館1周年ということでアンケート調査の予算があります。まだアンケートの設計に入れておりませんが、なるべくうまく意見をいただけるようにしたい。

委員 利便性を向上するにはお金がかかると思いますので、今年度は利用者満足度調査を目標とし、今後調査結果を基に向上させていくと良いと思います。

## 7 市民の学びと課題解決の支援

委員 1は、研修方法や対象者など、具体的なプランを示していただきたい。また、「情報の共有」ではわかりにくいので、月1回ミーティングをするなど、具体

的にあればイメージしやすく、またそれが目標だと思います。

2の「パスファインダーを作成します」という目標はあまりにも簡潔すぎるので、トピックス性のあるものや個別的なものなど、いろいろあると思うので、数などと併せ、内容や利用者に知らせる方法など具体的に示していただきたい。

3のテーマ展示は年何回など、計画をそのまま落とし込んでいただければ良いと思います。データベース講座についても回数や方法を合わせて入れていただきたい。職員でやるのか、外部講師を招くのか、ワークショップ方式など、やり方はいろいろあると思います。

#### 8 利用者対象別の図書館サービスの充実

委員 ます1については最終報告をお願いします。

2はブックスタート事業や乳幼児向けおはなし会など、すべてが継続事業となっているので、ここは利用者満足度調査を行ってください。「ハンディキャップを持つ子どもへのサービスの検討は」26年度までの目標でよろしいでしょうか。そうであれば中間報告をお願いします。

委員 「ハンディキャップを持つ子どもへのサービス」とはどのようなものでしょうか。上段の目標のように具体的に欲しいところです。

事務局 こちらは具体的なサービスを検討しているところです。検討したことはこちらでご報告できると思います。

委員 読書の動機付け指導や文芸賞は既に評価できる数字が既にあるのではないのでしょうか。

事務局 こちらは資料がございますので、具体的にお示しできます。

この目標の中には様々な児童サービス事業が含まれておりますので、それぞれの結果をお出しするほうが評価はしやすいでしょうか。

委員 特化するものがあれば書いた方がよいでしょう。

委員 全てが継続の目標であれば、「継続」という言葉は最後にするほうが誤解がないのではないのでしょうか。

事務局 文章の整理を含め、評価しやすいよう検討いたします。

委員 3の「YAサービスの充実」の「充実」は具体的にどのようなことを行うか示していただきたい。プレイスとの連携も具体的にどのように行うのかを示してください。また、この下の目標についても中間報告をお願いします。

5の利用困難者向けサービスは、継続なので利用者満足度評価をお願いします。視覚障害者向け資料の電算システム導入は26年度までの目標でしょうか。

事務局 視覚障害者向け資料の電算システム導入は24年度までの目標です。

委員 では「今年度」という表記をお願いします。

先ほど言い忘れた「パスファインダー」の件ですが、この言葉自体が市民にわかりにくいので、「パスファインダー（地図の探し方等）」といったように、後ろに具体例を入れたほうが分かりやすいのではないのでしょうか。

委員 シニア向けサービスとして、拡大鏡やルーペの貸出などはございますか

事務局 ルーペはカウンターにございます。

委員 そうであれば、4の下段の目標を「シニア世代の利用の便を図る」とし、具

体的な内容として大活字本やルーペの貸出が入るのではないのでしょうか。また、上段の生涯学習支援の内容の具体化をしていただきたい。シニア向けの席や椅子はないですか。

事務局 シニア向けというものはございません。生涯学習支援分野につきましては、プレイスと協議し、目標としていきたいと思えます。

委員 昨年度はプレイスのオープンが評価されていたと思えますが、今年度の優先順位や特に力を入れている事業はございますか。

事務局 予算要求の中では「視覚障害者向け資料の電算システム化」になります。継続事業については23年度の評価をふまえ、次回の委員会までにお示ししたいと思えます。

委員 27年度以降の目標として考えていただきたいのが「電子書籍」です。多くの公共図書館で導入が始まっていますので、検討せざるを得ない課題でしょう。

事務局 提供側のシステムもありますので、事務局としても検討すべきことと認識しています。

委員 システムを入れないといけないものなので、予算を取るなどは後としても、研究をしておいていただきたい。

委員 3のYAについてですが、22年度評価の際、「中高生向けの調べもの案内の検討」をとされていますが、こちらは23年度に反映されていないようです。こちらはパスファインダーの具体的な例として目標に入れられないのでしょうか。市内の中学校との連携も含め、目標に入れられないのでしょうか。

5に「視覚障害者向け資料提供の電算システム化」とありますが、現在電算化されていないのでしょうか。検索しやすい形へ替えるという意味でしょうか。

事務局 現在、視覚障害者向け資料は電算システム上に入っていません。今回、この資料にバーコードを付けてシステムにのせることにより、ホームページ上から資料の検索や予約をできるようにすることが今年度の目標です。

#### (2) 今後のスケジュールについて

次回以降の会議等日程の確認を行った。

#### (3) その他（会議日程等）

今回は平成24年7月9日午後5時30分より中央図書館にて開催を決定した。

## 4 閉会